



下末吉だより

令和4年9月1日

9月号

横浜市立下末吉小学校

下小音頭が完成しました。

校長 江口 和良

今週月曜日から令和4年度前期後半が始まりました。この夏休みを皆様はどのように過ごされましたか。子ども達は久しぶりの登校を楽しみにしていたでしょうか。長い休みの中で登校が嫌になってしまった子はいないでしょうか。(お子様の事でご心配がありましたら、いつでも学校へご連絡ください。)

私がこの夏休みで一番印象に残っているのは、なんとと言っても7月22日に開催された下末吉地区の納涼盆踊り大会です。70周年記念事業の一環で、5年生が制作した「下小音頭」を披露しみんなで踊ったり、6年生がゲームブースを出店して来場した皆さんに楽しんでもらったりしました。コロナ禍で減った

地域とのつながりを取り戻したい、大好きな下末吉のまちをこれからもずっと大事にしていきたい、という子ども達の思いが溢れた素敵な時間となりました。(このことについては8月11日付のタウンニュース鶴見区版にも掲載されたのでぜひそちらもご覧いただきたいと思います。インターネットで「タウンニュース 下末吉小」で検索すると記事を読覧することができます。)

子ども達の思いが詰まった「下小音頭」ですが、いろいろな繋がりの中で、プロのミュージシャンが編曲してくださったり、また別の方が音頭を歌ってくださったりして、かなりクオリティーが高い仕上がりとなりました。また、「下」という字を書くような振り付けなど、音頭に合わせた素敵な踊りも出来上がりました。なので、「下小音頭」がこの先も永く踊り継がれていけばいいな、と思っています。さしあたって、10月に開催される運動会で子どもだけでなく、保護者の皆様も一緒に踊れたらな、と思っています。

下末吉小学校 児童が「下小音頭」を制作 地域と繋がり復活目指し〈横浜市鶴見区〉

8/11(木) 22:00配信

タウンニュース



音頭を披露する5年生児童たち

市立下末吉小学校（江口和良校長）の5年生児童が、同校創立70周年記念事業の一環として「下小音頭」を制作した。コロナ禍で減った地域との繋がりを取り戻したいとの思いも込められ、7月22日に行われた下末吉地区の納涼盆踊り大会で初披露。祭りに参加した住民たちから大きな拍手が送られた。

今年11月に70周年式典を行う同校では、「プロジェクト70」と銘打ち、「未来に繋ごう下小のバトン!」のスローガンのもと、5・6年生を中心に周年を盛り上げる企画を進めている。

さて、夏休みで子どもがいない時間を使って、本校用務員が校舎じゅうの廊下をぴかぴかに磨き上げてくれました。冬休みまでの4か月間に子ども達が楽しい学校生活を送れるようになるための準備は万端です。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き下末吉小学校をよろしく願いいたします。

